

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	伝統的古民家再生と地域資源の活用を通じた新たなコミュニティの創出
対象地域	福井県勝山市小原地区
対象地域の概要	    <p data-bbox="469 1205 788 1234">【伝統的建築様式の古民家群】</p> <p data-bbox="936 1205 1453 1234">【コミュニティの崩壊と文化の衰退が進む集落】</p>
提案内容の概要	<p>地域再生の核と位置づける伝統的古民家の修復を通じた協働体制の確立や地域資源の修復・有効活用により地域の活性化を図るとともに、確立された新たなコミュニティ組織による地域運営と文化の継承・保存活動によって持続可能な仕組みと活動を目指し、集落から住民が消滅した場合における新しい形態の集落・地域の存続を提案する。</p>
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成18年豪雪による集落民家の損壊（28棟中15棟が全損壊）により景観の悪化、倒壊の危険性、地域住民への絶望感が指摘されている。</li> <li>・上記の豪雪による古民家群の損壊や急激な過疎化（参考資料）による伝統的生活文化の衰退があり失われようとしている1,000年を超える歴史と風土の中で培われた文化の伝承・保存・記録が望まれている。</li> <li>・住民が2人という中で崩壊したコミュニティや失われた集落機能の中では集落の消滅により管理者不在による森林の荒廃、耕作放棄地の拡大、ゴミの不法投棄など自然環境荒廃が懸念されている。</li> </ul>
(2) 活動内容の案	<p><b>活動①</b>：古民家修復活動と交流体験施設としての活用</p> <p><b>内容</b>：</p> <p>大学生等の夏休み期間という限られた時間の中で昨年度は外観の修復にとどまったが、本年度は内部の修復を実施して伝統的古民家1棟の完全修復を実施する。活動期間中の集落への学生等の長期滞在や地域住民による生活面の補助など地域住民らとの交流による活性化を図る。</p> <p>修復された古民家は、活動②や③の拠点施設として、伝統的生活文化を素材とした世代間交流や地域間交流の体験施設として活用する。</p> <p><b>活動②</b>：伝統的生活文化の継承、記録（憶）づくり</p>

**内容：**

地域住民や地域出身者を対象として、伝統的生活文化に関する聞き取り調査やアンケート調査を実施する。言葉（方言）、風習、郷土料理、生活民具、伝承、地名など（検討中）の調査対象文化をデータベース化し、今後の地域づくりにおいて復活と有効活用を目指す。

活動①により完成した民家を活用して郷土料理や生活民具の伝承を目的とした体験会を企画。伝承と合わせて録画保存を実施。

**活動③：**ガイドコースの常設、運営

**内容：**

昨年度調査により、今後の課題とされた安全対策やストーリー性の欠如等をクリアするために歩道、ベンチ、林地の整備等を実施してコースを設置し、有識者・研究者らと協働してツアーガイドを養成し、ガイドツアーを定期実施する。

活動①により完成された古民家を拠点にしたツアーコースと活動②の継承・記録と絡めた都市住民らとの体験交流会の組み合わせ、1つのエコツアーモデルを運営し、活動④に掲げるコミュニティビジネスの1つとして立ち上げる。

**活動④：**新たなコミュニティ組織による地域活動の試行とコミュニティビジネスの調査研究

**内容：**

昨年度の事業により構築された住民・地域出身者、大学生、大工棟梁、ボランティア、研究者、企業等とのネットワークコミュニティにより、本年度の各事業を推進するとともに集落活動（祭り、草刈、屋根雪おろし等）を実施する。

また、今後の集落・地域活動等の持続性を資金面から支えるコミュニティビジネスの立ち上げに向けて、集落に現在も数少なく残る茶（山岳性のお茶で全国的にみても珍しい存在）の栽培や販路開拓の調査研究を実施する。

応募団体名	小原 ECO プロジェクト
リンク	<a href="http://www.katsuyama-ohara.com">www.katsuyama-ohara.com</a>
部局／担当者名	代表 國吉一實
連絡先	0779-88-1517 <a href="mailto:ohara-eco@nifty.ne.jp">ohara-eco@nifty.ne.jp</a>
推薦市町村名	福井県勝山市